

JAやまがた

6

2020
June



02 第23回 通常総代会

06 特集 JAの未来

新型コロナウイルスの難局を 相互扶助の精神で乗り越えましょう!

12 旬の料理 紫アスパラとセロリのトマトリゾット



JAやまがた
公式 Facebook

広報紙 JAやまがた 2020/6月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/



プロに聞く
やまがた
旬の料理

紫アスパラと
セロリの
トマトリゾット

●材料(2人前)

- ・紫アスパラ…2本
- ・セロリ…1本
- ・トマト(湯むぎ)…2個
- ・お米…80g
- ・玉ねぎ(みじん切り)…1/4個(50g)
- ・ベーコン(細かく切る)…40g
- ・白ワイン…10~15ml
- ・バター…3g ・粉チーズ…10g
- ・塩…ひとつまみ ・水…150ml
- ・ブラックペッパー…適量
- ・オリーブオイル…適量

ワンポイントアドバイス

お米の固さを確認しながらお好みに合わせて煮込時間を調整してみてください。紫アスパラの彩りを保つには火を通し過ぎないこと。



佐藤 翼 / 『Ritz Garden Dining Lounge (リッツガーデンダイニングラウンジ)』 / 山形県産の素材を中心に、彩り豊かなイタリアンを展開。ヘルシーかつ満足度の高いメニューが目白押しです。豊富なカクテルメニューも美味しさに定評があります。 / 山形市香澄町1-7-12 酒井ビル1F / ご予約 TEL.050-5263-6258 / お問合せ TEL.023-608-5076 営業時間(通常時) 18:00~26:00 / 定休 火曜



1 フライパンにオリーブオイルを引く。玉ねぎを半量入れ弱火で炒める。油を吸ったらバター半量とお米を入れて透き通るまで炒め、白ワインを入れて3~5分煮る。



2 【トマトソース】トマトをミキサーにかける。セロリの筋を取り、半分を細かく切る。ベーコンと玉ねぎと一緒に中火でさっと炒めたら、トマトを加え、塩で味を調えながら3~4分煮る。



3 セロリのもう半分を0.5mm程の厚さに輪切りにする。アスパラの柔らかい部分を1cm程の長さに切り、固い部分は細かく切る。セロリ、アスパラの順番でさっと炒める。



4 ①に【トマトソース】と水を入れ、中火で10分程煮る。バターと③と粉チーズを順番に加えて混ぜる。セロリの葉のみじん切りとブラックペッパー、粉チーズを振りかける。

オススメ読書



購読申し込み
経済課
TEL.023-624-8567



少量でおいしい ジッパー袋でかんたん 季節の保存食

榎本美沙 著

春夏は梅干し・ぬか漬、秋冬には味噌・キムチなど季節の手仕事を始めてみませんか。ジッパー袋で食べられる分だけ作るから、手間なく簡単に楽しめる。調味料に漬けて仕込む便利なポリウムおかずも紹介。定価(税込)1,320円



今月の表紙 /
平吹拓也さん、貴子さん、
光悠くん(5歳)、
美弦くん(1歳) (山形市南館)

平吹さんは米、トマト、キュウリ、大豆を主に生産されています。コロナウイルスの影響で不要不急の外出を自粛中は、子ども達も育苗ハウスのある作業場に来て元気いっぱい遊んでいたそうです。拓也さんは「仕事も生活も笑顔を絶やさず、家族と一緒に長く農業を続けていきたい」と話してくださいました。

【好きな食べ物: 光悠くん…納豆巻き、美弦くん…イチゴ】

第23回通常総代会

5月15日 山形農業協同組合 本店 大会議室

新型コロナウイルス感染拡大を受け、可能な限り規模を縮小しての開催となりました。総代の皆さまには書面による議決権行使を依頼し、各地区総代会長13名が本人出席、議決権行使書面473名の計486名が出席しました。また、傍聴は別室でモニターを設置して行い、出席者のマスク着用、玄関での検温を実施するなど感染防止策を徹底しました。

議事

議長に、天神支店総代会会長の丹野憲司さんと、ひまわり支店総代会会長の大坪義行さんが選出されました。8つの議案と付帯決議案が提出され、慎重審議の上、全議案承認されました。

令和2年度事業計画

組合員の皆さまの負託に応え、農業・地域になくてはならない存在として役割を發揮していくため、組合員の目線に立った事業運営に努めます。

提出議案

- 第1号議案
令和元年度(平成31年度)事業報告および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案
定款および定款付属書総代選挙規程の一部変更について
- 第3号議案
農地利用集積円滑化事業規程の廃止について
- 第4号議案
農業経営規程の一部変更について
- 第5号議案
信用事業規程の一部変更について
- 第6号議案
令和2年度事業計画の設定について
- 第7号議案
令和2年度における理事および監事の報酬について
- 第8号議案
令和2年度賦課金の賦課基準および徴収方法の決定について
- 付帯決議案
決議事項中、行政庁の指示による字句の修正等は理事会に一任します。



岡崎組合長あいさつ

令和2年度事業計画

営農経済部

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」実現のため、営農指導の強化、農畜産物の有利販売、低コスト農業、労働力の確保をはかり、足腰の強い農業経営基盤の確立に努めます。生産基盤の維持・継続のため、大規模経営のみならず家族経営等中小規模農家を含めた地域農業を支える多様な担い手経営体への支援強化をします。営農施設再編整備の計画的な取り組みと組合員・利用者の皆さまの多様化に対応した営農相談機能と経済渉外活動を強化します。

金融部

組合員並びに利用者の皆さまに選ばれる存在であり続けるため、総合事業の強みを最大限活かしながら、2022年(令和4年)以降実施の新たな店舗機能を見据えた事業に努めます。

共済部

事業基盤の維持・拡大に向け、組合員並びに利用者の皆さまへの訪問活動による

資産サポート部

有効な資産活用の提案と宅地建物取引の適正な運営と取引に努め、相続・事業継承支援と事前相談および税務相談の拡充をはかります。

経営管理部

第7次中期経営刷新計画の実践2年目として、組合員の皆さまのアクティブ・メンバーシップ強化並びに地域の活性化へ向けた取り組みを実施します。また、経営および業務の効率化を通して一層の経営基盤強化に取り組みます。

人事部

職員が健康で意欲的に仕事に打ち込めるよう、働き方改革を踏まえた職場環境づくりと、JAの自己改革を実践するために、自ら資質向上に努め、創意工夫し、リーダーシップを発揮できる職員づくりに取り組みます。



議長

受付

執行部

内部監査室

監事監査と連携をはかり、内部管理態勢の適正性・有効性検証について内部監査を実施するとともに、会計監査人監査へ適切な対応をしております。

表彰者

■ 組合員特別功労者表彰

板垣平治郎 前組合長
代表理事組合長3期(6年9カ月)
理事3期(8年3カ月)

■ 組合員特別表彰

武田寛一 前代表監事
代表監事2期(6年)
監事2期(6年)
佐藤益治 前筆頭理事
筆頭理事1期(3年)
理事3期(8年)

※新型コロナウイルス感染防止のため表彰式は行わず、後日、岡崎組合長がご自宅へお伺いし賞状をお贈りしました。



令和2年 JAやまがた 農業応援貯金キャンペーン

令和2年 6月15日(月)～8月17日(月)
定期貯金

10万円以上新たなお預け入れ
または継続10万円以上増額ご契約の方に

おいしさ直売所全店で
使える最大5,000円分の
レインボー商品券が
抽選で200本当たる!

- 5,000円×10本
- 1,000円×50本
- 500円×140本



下記のいずれかに該当の方がご契約いただけます。

- JAやまがた正・准組合員の方(ご家族も含まれます)
- JAカード所有者(新規申込みの方も含まれます)
- JAやまがたで年金をお受取りされている方、または、年金お受取りのご予約を申込みされている方(新規申込みの方も含まれます)

お問い合わせ 各支店または
金融部 貯金業務課
TEL.023-624-8268

7月1日(水)より レジ袋有料化がスタートします

プラスチック製買物袋は、非常に便利な素材ですが、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ、地球温暖化などの課題もあります。このような状況を踏まえ、令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買物袋、いわゆるレジ袋の有料化を行うこととなりました。当JAでも支店、営農センター、グリーンやまがた各店でレジ袋が有料化(1枚5円)となります。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

フレッシュミズ部 製作 米袋バッグ販売のお知らせ

広報紙5月号で紹介させていただきました米袋バッグの販売を行っております。7月1日からレジ袋の有料化がスタートします。この機会に米袋をエコバッグとして使用してみたいかをご紹介します。

販売場所：おいしさ直売所 落合店
期間：7月上旬頃まで



お詫びと訂正

5月号、9ページ【大型特殊免許をお持ちですか?】の記事において誤りがありました。
・「無免許運転は違反点数19点」正しくは「25点」、
・「欠格期間は1年」正しくは「2年」です。
以上のように訂正し、ここに深くお詫び申し上げます。

理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載いたします。

第2回理事会 〔4月22日開催〕内容より

●報告事項

- ・令和元年度 定期決算監査意見書
- ・コンプライアンス関連 諸規程等に係る定期報告
- ・令和2年度産米集荷方針 および米個別出荷契約書
- ・令和元年度野菜ハウス団地 第3期工事(決定額)
- ・および果樹ハウス団地 第2期工事(決定額)
- ・果樹団地(もも)

●協議事項

- ・令和元年度(平成31年度) 事業報告および 剰余金処分案の承認
- ・令和2年度賦課金の賦課 基準および徴収方法の決定
- ・令和2年度 販売事業計画の変更
- ・第23回通常総代会の 付議事項(提出議案)
- ・第23回通常総代会の招集
- ・令和2年度各種団体 活動費の配分

役員より vol.12



理事
武田政則

初心を忘れず、組合員・地域のために

農協は今、存亡危機にあると感じております。これまで以上に初心に立ち返り、一致団結して頑張らなければいけないと思います。

「組合員の所得向上、地域に信頼される農協」を目指し、第7次中期刷新計画を着実に実施しなければなりません。

本年度は新型コロナウイルス感染の影響で、今後の事業活動が不透明な中、不安も大変大きいですが、役員が協力して頑張ります。

DIRECTOR'S OPINION
2020

質疑応答

総代会開催前に総代の皆さまより、いただいたご質問、ご意見の一部を紹介いたします。

■農業の競争力強化には原価低減が必要。生産資材や農薬等販売単価を低減して貢献する考えはありませんか。

現在、価格対策として、他店の価格調査の実施や、各取引業者による見積り合わせによって、より安価な業者より仕入れを行っております。また、大規模農家や法人向けとして、大口購入値引き、予約申込書での対象商品限定の割引も行っております。今年から、新たに農薬の年割という予約制度を実施しておりますので、ご利用をお待ちしております。

■基本目標が3項目掲げられておりますが、その目標に対する達成度はどうであったか総括を伺いたい。

水稲では生産調整によって生産基盤の強化と継続に取り組み、米価の安定と規模拡大等による所得増大を行い、園芸では市場を集約しロットを太くしたことにより交渉力強化となり企画販売や特注品の増加によって【農業者の所得増大】に取り組みました。【農業生産の拡大】においては、大規模園芸団地(野菜ハウス団地・果

樹ハウス団地・果樹団地)の造成によって新規就農者の育成支援を通じ農業生産の拡大に取り組みました。生産部会や支店管内組織などに団地の新規就農者を迎えること、また直売所の新設により地域住民とのふれあいや地産地消を通じて【地域の活性化】に取り組みしております。

■「十町歩の会」の研修会が開催されておりますが、参加者の人数(会員数)や肥料・農薬等の購入数量及びJAへの出荷数量はどのくらいあるのか。

「十町歩の会」会員については、水稲作付面積が概ね7ha以上の生産者92名であり、出荷数量は約65,000俵、肥料については、1tフレコン袋等合わせて約39,500袋、また、農薬については、大型規格剤等合わせて約6,800袋の購入をいただいております。

■昨年の役員改選により、代表理事組合長に就任されたが、JAの目指すべき方向性や具体的な方策(ビジョン)をどのように考えているのか説明していただきたい。

農協法にもあるように、「地域の農業生産の振興を旨として、組合員の相互扶助の精神に基づき、協同して組合員の事業及び生活向上のために必要な事業を行い、もってその経済状態を改善し、かつ、社会的地位の向上を図ること」がJAの目的であり、目指すべき方向であります。

組合員が多様化しニーズも様々あるなか、JAが本来的な目的を達成するため、また農業・地域から必要とされる存在であり続けるために、「ワンチーム」として取り組んでいきたいと考えております。必要とされるJAにすることにより目的を達成してまいります。

■今後の農業情勢を含め、大変な状況となる。組合員のために是非、今後のJAの経営方針を明確にしていきたい。

新型コロナウイルスの影響により、益々農業を取り巻く環境は厳しい状況であり、JAの経営にとっても大転換期を迎えているところではありますが、協同組合としての相互扶助の精神を忘れず、「すべては組合員の皆さまのために」という協同組合の理念に基づき、JAの役割を再認識して事業を進めてまいります。

■各支店の総代会長や運営協力委員長の見直しによる減員のため、JA組織の弱体化に結び付くと考えます。また、同時に役員定数の見直しを図る必要があると考えますが如何か。

各支店の機能再編が終了し、組合員の皆様より協力組織においても統合すべきであるとの意見があり、平成29年5月の第20回通常総代会において定款附属書総代選挙規程の一部変更を上げし、総代の皆さまより決定いただいた経緯があり、その決定に基づいた体制であります。ただし、その体制は永久

に続けていかなければならないものではないため、将来の組織体制について検討してまいります。また、現在、役員定年制度や女性理事の選任を含めて次期改選に向け、今後の検討スケジュールを確定しておりますので、役員検討委員会、役員協議会、理事会にて協議を重ねていく予定です。

■共済部門の「農業リスク診断活動」を通じての保障提案を全面に出して欲しいが如何か。

現在、共済外務員27名・複合外務員20名を中心に訪問による「農業リスク診断活動」を実施しております。農業リスク診断は、農業者の皆さまが安心して農業経営に専念し、安定的な経営基盤を築いて生活していただけるよう、農業経営を取り巻く様々なリスクへの備えに対しての提案を行うものであり、大変重要な活動であると認識しております。今後も更に訪問による診断活動の強化を図るとともに、「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供により、安心した暮らしの実現に向け取り組んでまいります。

いただいたご意見、ご要望を真摯に受け止め、役員一同邁進いたします。事前意見・質問の回答は、議事録に記載しております。各支店長へお問い合わせください。

花卉農家応援!

3月25日(水)～定期的に 山形市役所に山形市産の花展示

山形市は山形市花卉連絡協議会の協力で、市役所正面玄関と佐藤孝弘市長の定例記者会見会場に山形市産の花を展示し、市産の花の魅力をPRしています。5月19日に展示した花はアリストロメリア、ひまわり、ライラックなどです。山形県が3月12日から県民に花の消費を呼びかける「花を飾ろう!花を贈ろう!運動」に合わせた取り組みです。



5月8日(金) 上山市役所で切り花販売

上山市の花弁農家で構成するJAやまがた蔵王花卉生産組合は、上山市役所で市職員向けに切り花の販売を行いました。上山市と当JAが協力して企画しました。生産者は事前に予約注文を受けた、デルフィニウム2種類とクラスペディア、テマリソウ、麦などを合わせたもの、ラークスパーなど4品を約260束準備し、同市役所へ届けました。

■ 稲毛昇副組合長
「新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が長いので、フラワーアレンジなどに挑戦して癒されてほしい」



コロナ感染予防! フレッシュミズ部 手作りマスクで支援!

4月20日(月) 福祉センター青田に手作りマスク寄贈

多彩な柄の手作りマスク約50枚を寄贈していただきました。寄贈には経営管理部の羽角克之部長がセンターを訪問し「皆様には安心して元気に過ごしていただき、人生100年時代、青春を謳歌してほしい」とあいさつし、経済課の岡崎恵子主任と共に利用者センターの職員に手渡しました。

■ 五十嵐浩美センター長
「世界にひとつだけの心温まる華やかなマスクを届けていただき感謝です」



4月25日(土)～5月6日(水) おいしさ直売所落合店で手作りマスク販売

全国的にマスクの品薄状態が続くなか、おいしさ直売所落合店で手づくりマスクを販売していただきました。子ども用から大人の男性、女性用とサイズも柄も多様なマスクを準備していただきました。



5月11日(月) 「県民総活躍でマスク運動」に参加

県が取り組む、就学前の子ども達への手作り布マスク作製に賛同し、マスク124枚を村山総合支庁へ届けました。集まったマスクは県内児童施設等で活用されます。



新型コロナウイルスの難局を 相互扶助の精神で乗り越えましょう!



世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスは農業にも深刻な影響を及ぼしています。花の需要が高まる3月4月に催事等の中止縮小で花卉の需要が減少し、飲食店や旅館の営業自粛で牛肉の価格下落などJAやまがた管内の農畜産物にも打撃がありました。そのような状況のなか、生産者・行政・JAが一致団結し、様々な場面で販売促進運動が展開されました。この苦境のなか、農作業を止めず、私たちの食を守ってくださっている生産者の方々に感謝し応援していきましょう!

畜産農家応援!

4月22日(水) 本店役職員向け「畜産農家応援・特別企画」

A4ランクの山形牛を同日の理事会に出席した理事と本店勤務の役員向けに販売し消費拡大に取り組みました。

■ 畜産課の鈴木繁課長
「肥育農家の方が丹精込めて生産した黒毛和牛の流通を良くして応援していきたい。役員、理事の皆さんからご協力いただきありがたい。ワンチームとなって、この難局を乗り越えたい」



4月25日(土)、26日(日) おいしさ直売所落合店「山形牛応援フェア」

多くのお客様にご来店いただきました。新型コロナウイルス感染防止のため、お客様には一定の距離を保ち並んでもらいながら外での販売を行いました。



5月1日(金) 山形市役所「畜産農家応援・特別企画」

山形市役所農政課は山形牛を生産する市内の畜産農家を応援しようと、当JAが準備した焼肉用の山形牛を市役所職員向けに販売しました。また、県域を越える往来を自粛しているため、県外で暮らす家族や親戚への発送も行いました。

■ 農林部次長兼農政課課長の鈴木康雄さん
「私たちが山形牛を購入することで生産者の支援に繋がります。今後も定期的に実施していきたい。ゴールデンウィークはステイホーム週間。家族でおいしい山形牛を食べて楽しんでほしい」



JAやまがたの農産物を使って お弁当販売♪

Y-Eatsアンバサダー
玉利紗綾香さん

4月24日(金)～5月3日(日) 東京都練馬区で期間限定「さやべん」販売

外出自粛中はテイクアウトして自宅でご飯を食べる機会が増えました。当JAのきゅうり、ミニトマト、山菜、スナップえんどう、かぶなどをお弁当に使用して山形の旬の農産物をPRしていただきました。栄養たっぷりの日替わり弁当は毎日完売する人気ぶりでした。





4月16日(木) 西郷育苗センター播種作業開始

当JAの各水稻育苗センターでは4月の中旬から2020年産米の播種作業が本格化します。管内の本沢、上山、西郷、長崎の4つの育苗センターで合計48,000枚を播種しています。

上市市の西郷育苗センターでは4月16日から、JA職員と臨時作業員ら約10名が種もみを補給した播種機から送り出される育苗箱を確認しながら出芽室に運ぶ作業などを行いました。同センターでは4月24日まで「はえぬき」「つや姫」を主力に4品種、13,000枚の播種を行い、4月27日まで随時育苗ハウスに運ぶ作業を行いました。



5月3日(日) 母の日に愛情を込めて ハートパックさくらんぼ



中央営農センターでは、5月10日の「母の日」に向け、ハート形のパックに詰めたさくらんぼの出荷をしています。当JAオリジナルのハート形パックは約10年前から使用され、中央ハウスさくらんぼ研究会が育てた加温さくらんぼ「佐藤錦」「紅さやか」「正光錦」などが4月下旬から5月末頃まで関東、関西方面に出荷されています。同研究会の鈴木淳さんは5月3日、ハート形のパックに詰めたさくらんぼを約20^{kg}出荷しました。鈴木さんは「この時期に美味しいサクランボを出荷できるように正月からハウスの温度を管理して育てている。お母さんにプレゼントして感謝の気持ちを伝えてほしい」と話していました。

4月28日(火) 彩り鮮やか 春を届ける小笹うり

南部営農センター小笹うり部会は、上市市の小笹公民館で2019年に地理的表示(GI)に登録された「小笹うり」の目ざろえ会と出荷打ち合わせ会を開きました。新型コロナウイルスの影響で旅館の休館に伴い業務上の需要が激減し、学校の休校により上市市内の学校給食への提供も不透明なか家庭用の販売が中心となることを踏まえ、より品質に注意して出荷することを確認しました。鈴木憲一部会長は「GI獲得した小笹うりの名を汚さないよう努力していこう」と参加者に呼びかけました。



出荷は5月のゴールデンウィーク明けにピークを迎え、5月下旬頃まで続きます。

4月17日(金) 福祉センターで大人気! 移動直売所



福祉センター青田では、おいしさ直売所から農作物などの商品を仕入れ、センターの利用者へ移動販売を開いています。野菜、果物、花卉、惣菜コーナーを作り、センターの職員が各コーナーの販売スタッフに扮し商品をPR。利用者は各コーナーを回り品定めをした後、スタッフが一つずつ商品を紹介したものに手を挙げて購入しました。欲しい商品が重なってしまった場合は、じゃんけんで勝った人が購入できます。利用者の方は「足が不自由だし、外に行かなくても買い物ができる良かった」と楽しんでいました。



同センターでは、新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えており、月2回行っていたJAおいしさ直売所への買い物も中止し、3月からセンター内で移動販売を始めました。

4月15日(水) ハウスさくらんぼ 初出荷

中央ハウスさくらんぼ研究会の加温さくらんぼが初出荷されました。

この日は研究会員2名の早生品種「紅さやか」14.6^{kg}を中央営農センターで検品後、大阪の市場へ出荷しました。

4月の低温で昨年より2日遅い初出荷となりましたが、着色、粒の大きさ、食味共に良好の仕上がりとりました。

同研究会は5月のゴールデンウィーク頃から主力品種「佐藤錦」の出荷が始まります。



4月10日(金) 彩り鮮やか食用菊 園地巡回

中央営農センター東金井蔵王菊組合は、山形市内で促成栽培の食用菊「岩風」の園地巡回を行いました。参加した生産者5名とJA職員らが、成育状況や害虫の防除について確認しました。同センター屋島正人副主査は、「春先は空気が乾燥するので早めに水管理をしてほしい」と呼びかけ、アザミウマの防除については、ハウス内外の除草、赤い防虫ネットの設置、蕾の時期までの薬剤防除を徹底して行うことをアドバイスしました。

同組合の「岩風」は4月5日から出荷を開始し、5月のゴールデンウィーク明け頃にピークを迎えます。



JA広域食用菊部会の海和良一副部会長「春の食用菊は冬の寒さにあたって分、特に甘くておいしい」

3月30日(月) 甘くて柔らか! 朝採りアスパラガス



ハウス栽培のアスパラガスの本格出荷に向けて、本沢そ菜部会アスパラガス研究会は、上市市のJA久保手農業倉庫でアスパラガスの目ざろえ会を開きました。生産者や市場関係者、JA職員ら13名が参加し、品質や規格、市場情勢などを確認しました。

井上源七会長は「今年もおいしく仕上がりました。朝採りのアスパラガスは甘くて柔らかく、みずみずしい。子供から大人まで、ぜひ味わってほしい」と話されていました。



今年度は会員9名で県内市場などへ約10^{kg}の出荷を計画しています。出荷は9月中旬頃まで続き、ピークは4月中旬です。

読者の広場

6月号のテーマ

免疫力アップ!

● 毎日、「納豆+長いも」または「納豆+海藻類」とヨーグルトを食べています。コロナの前からなので免疫力はついていないのではないかと考えています。(山形市 Sさん)

● 発酵食品で腸内環境を良くすることは免疫力アップに効果的と聞きます。普段の食生活から気をつけることは大切ですね。

● 土いじり家庭菜園をしよう。農家にまだ感染はみられませんが。(山形市 Mさん)

● 新型コロナウイルスの感染が拡大するなかでも食の心配がなく過ごすことができ、本当に農家の方に感謝です。外で身体を使って仕事をされる農家の方々は体力がありますね!

● 直売所の花コーナーが好きです。買い物のついでに1つ購入して家に飾っています。明るい気持ちになります。(山形市 Aさん)

● 心が満たされていることも、健康や免疫力アップに繋がるかもしれませんね。直売所をご利用いただきありがとうございます。※5月号クロスワードの8ヨコの答えは「コウグ」です。

息抜き

クロスワード

あみがけの□部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。

□ □ □ □

1	2			3
			4	
5				
			6	7
8				

ヨコのカギ

- 1 夜になってかなり時間がたったころ。
- 4 仕事を仕上げるのに必要な時間や手数。
- 5 足のくるぶしの上の少し細くなったところ。
- 6 行動の拠点となる場所。「秘密〇〇」
- 8 農業のために使われる土地。

タテのカギ

- 2 むかしから伝わっている、生活の仕方やならわし。
- 3 ちょうど、この時。
- 4 人の手を引いて導くこと。人を案内すること。情報を教えるなどして手助けすること。ガイド。
- 7 病気、けがなどが治ること。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

● 応募方法 / 「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

7月号のテーマ
母の日・父の日

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

● 締切 / 6月25日(木) (当日消印有効)

● プレゼント / 「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下さった方の中から抽選で3名の方に「おいしさ直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

5月号のクロスワード答え：たうえ



あとがき

不要不急の外出を控える日々だったので、5月の休日は家のぶどう園まで往復4kmを散歩して、家庭菜園のアスパラガスを取ったり、すこし父の作業を手伝ったりする休日を送っていました。採れたてのアスパラガスはとても美味しく、久しぶりにゆっくり時間が流れる休日を送った気がします。

福祉センター青田
健康
コラム vol.68

食中毒にご用心

6月に入りました。暑くてじめじめとした時期は「食中毒」に注意しましょう。

厚生労働省では、食中毒の予防の為に「3つの原則」を提唱しています。

3つの原則

- ① 細菌を食べ物に「つけない」
- ② 食物に付着した細菌を「増やさない」
- ③ 食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」

ウイルスの場合は食物中で増えませんので「増やさない」は該当しませんが、代わりにウイルスを食物や調理器具に「ひろげない」ことが重要です。

- 具体的なポイントとして、
- ・消費期限を確認する事
 - ・生ものを扱うときはこまめに手を洗うこと
 - ・残り物を温めなおすときは十分に加熱すること
- などがあげられます。

食中毒に気を付けながら、楽しい食事の時間を過ごして下さいね。

5月の通所介護



JA移動販売



プランター教室(葡萄の間引き)



畑教室(堆肥入れ)



お問い合わせ 福祉センター青田
TEL.023-616-8002

介護サービス事業 / 通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

組合員の皆様へ

持続化給付金に関するお知らせ

給付金の概要

新型コロナウイルスの影響で、1月以降の特定月の売上が、前年度の特定月の売上から50%以上減少した農業者が対象となります。

給付額

法人は200万円まで、個人農業者は100万円まで
※ただし、昨年1年間の売上からの減少分が上限です。

給付額の計算方法

前年度の月平均の売上(収入) = 前年の年間売上(収入) ÷ 12か月

※計算の対象とする月は、2020年1月~12月のうち任意のひと月を、農業者が選択。

申請期間

給付金の申請期間は、令和2年5月1日から令和3年1月15日まで

申請方法

Web(インターネット)での申請が基本ですが、JAが代行して申請する場合は、申請支援にかかる承諾書が必要となります。

その他

持続給付金のほかにも様々な国の支援があります。また、資金繰りについても、実質無利子・無担保の融資などがあります。

詳しい内容は、後日説明会を開催予定です。

(開催日が決まりましたら、お知らせいたします)

JAやまがた 果樹団地
第2期工事分 利用者募集中

JAが整備を進める果樹団地において、新たな担い手の育成を行いながら、就農支援を行います。



場所 山形市西中野

利用者の要件

- ① 新規就農者、定年就農者等
- ② もも栽培に意欲のある方
- ③ 当農協管内の組合員(予定も含み)
- ④ 申込み時に於いて65歳未満である方

利用施設概要

- ① 果樹団地 1区画20㎡: 2区画
1区画28㎡: 2区画
1区画30㎡: 1区画 計5区画
- ② 付帯設備 防風ネット、灌水設備
- ③ 設置機械 乗用モア、スピードプレイヤー

募集期間

令和2年6月1日(月)~令和2年9月30日(水)

年間利用料

- 1区画20㎡: 年間180,000円 消費税別(定植5年目より)
・未収穫期間の利用料 1~2年目 60,000円
・未収穫期間の利用料 3~4年目 120,000円
- 1区画28㎡: 年間252,000円 消費税別(定植5年目より)
・未収穫期間の利用料 1~2年目 84,000円
・未収穫期間の利用料 3~4年目 168,000円
- 1区画30㎡: 年間270,000円 消費税別(定植5年目より)
・未収穫期間の利用料 1~2年目 90,000円
・未収穫期間の利用料 3~4年目 180,000円

お問い合わせ

営農経済部 営農米穀課 TEL.023-624-8562